

愛媛県松山市

地域資源を活かした 観光まちづくり



趣旨

近年、観光客のニーズが多様化するなかで、全国各地で地域資源を活かした観光や交流事業による地域再生の試みが活発化しています。観光産業は、経済波及効果だけでなく、地域の自然や歴史文化等の地域資源を見直す観点からも、地域活性化の重要な施策となっています。

全国的にも珍しい小説『坂の上の雲』をテーマにまちづくりを推進している松山市では、点在する観光資源を総合的に活用し、物語性のある観光まちづくりが官民一体となって進められています。『坂の上の雲』のまち松山が行う観光振興について、具体的事例を検証しながら、今後の観光によるまちづくりの展望について検討します。



概要

松山市(人口514,926人:平成23年4月1日現在)は、愛媛県の中央部、松山平野にあり、東は西日本の最高峰石鎚山を擁する四国山地を背景とし、西は波静かな国立公園瀬戸内海が望むことができます。松山の名は、慶長8(1603)年加藤嘉明が築城した松山城にちなみ、名付けられたと言われています。

明治6年愛媛県庁が設置され、県都となり、明治22年12月15日市制を施行以来、政治・経済の中心都市として成長し、俳人正岡子規をはじめ、多くの文人を輩出するなど地方文化の拠点としての役割を果たしています。

また、司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』を題材とした21世紀のまちづくりを推し進めており、この小説の主人公、俳人正岡子規、帝国陸軍・海軍で活躍した秋山兄弟の3人が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望を基本理念に、官民協働でまちづくりに取り組んでいます。

主任講師

1971年東京都出身。1990年～1995年米国留学。帰国後、ネット戦略などのコンサルティング業務を経て、2001年、映画・映像作品の撮影誘致支援を地域の魅力再発見に活かす「フィルム・コミッション」を愛媛で開始。300本以上の映画・映像作品の撮影に携わる。主な実績は『坂の上の雲』、『世界の中心で、愛をさけぶ』、『がんばっていきまっしょい(TV)』、『HERO』など。2002年～2008年、愛媛県観光課勤務。2008年～2011年、松山市観光産業振興課勤務。2011年「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げる「いよココロザシ大学」設立。



いよココロザシ大学
学長
泉谷昇氏

会場

坂の上の雲ミュージアム3階 会議室

愛媛県松山市1番町3丁目20番地

【アクセス】伊予鉄道市内線 大街道下車 徒歩2分

日程

11.16 | 水

13:30 開講式・オリエンテーション

Lecture 1

13:45 「地域資源を活かした観光まちづくり」

(総論・問題提起) 主任講師: 泉谷昇氏

Lecture 2

14:40 「松山はいくの取り組み」

特別講師: 松山市観光産業振興課

Lecture 3

15:50 「地域に生きる劇場」

特別講師: 坊っちゃん劇場 支配人 山川龍巳氏

Lecture 4

17:00 「シクロツーリズムしまなみの取り組み」

特別講師: NPO法人シクロツーリズムしまなみ 代表理事 吉武優子氏

11.17 | 木

Panel Discussion

9:00 「松山市の観光産業の展望」

主任講師: 泉谷昇氏

特別講師: 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会会長 宮崎光彦氏
株式会社まちづくり松山代表取締役 日野二郎氏

Field Work

13:30 「松山はいく特別版」

主任講師: 泉谷昇氏、松山はいく事務局

Group Work 1

16:30 視察結果のとりまとめ

主任講師: 泉谷昇氏

11.18 | 金

Group Work 2

9:00 フィールドワークを踏まえたテーマに対する提言、アイデア、計画等

主任講師: 泉谷昇氏

Group Work 3

10:20 グループ発表・講評

主任講師: 泉谷昇氏

Lecture 5

11:30 総括

主任講師: 泉谷昇氏

11:55 閉講式

申込先・問合せ先

財団法人 地域活性化センター 振興部 地域支援課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番地4号 日本橋プラザビル 13階
TEL (03) 5202-6136 FAX (03) 5202-0755
E-mail chiiki@jcrd.jp
URL www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp